



子育てについて講演する引地ユリさん

⑨ 広報よこしば

「子どもの心のつくられ方と大人の対応のしかた」と題した家庭教育講演会が2月15日、町文化会館で開かれました。講師は養護教育に永くつとめられた引地ユリさん。引地さんは、教育現場で子どもたちと接しているうちに、子育ては生まれるまえから始まる。なぜなら、親は生まれてくる子を、子は自分の親を自由に選べない。だから、よい子を産み育てるには、生まれるまえの段階で、その両親が心身ともに健康でなければならぬ」と痛感したそうです。

そのうえで、子どもへの対応として、①小さいときから

子育て

家庭教育講演で引地ユリさん

実は生まれるまえから



熱心に聞き入っていた出席者のみなさん

子どもの話しに耳を傾ける② 淋しくさせない③ほめる・喜びの体験をさせることが何より大切、わずかなことでも、子は親のやさしさを感しながら育っていく」とも。

また、「子どもには、たくさんの可能性が秘められているが、これを現実させる原動力は食生活。栄養のアンバランスによる精神的な障害も少なくない。非行にはしってしまう子どもも現実にいるが、その子も最

初からワルではないはず。一人の人間として、よいところを見出し、それを育ててやることが大人の役目である」と、約2時間にわたり講演されました。

横芝町準優勝

第22回山武郡市駅伝競走大会

2月11日の建国記念の日に、山武町を会場として第22回山武郡市駅伝競走大会が行われ、わが横芝町チームは準優勝に輝きました。

この大会は、山武郡内の9市町村で競う駅伝大会で、山武杉の中を走る、上り下りの多い32・8kmのコース。

横芝町は、昨年、一昨年に引き続き「優勝」をと大きな期待がよせられました。選手、役員さんと最終打ち合わせの後、いよいよスタート。



軽快な走りを見せられました

出席したみなさんは、しきりにメモをとりながら、熱心に聞き入っていました。



準優勝に輝いた横芝町チーム

は、2区でトップに立ちましたが、着々と差を縮めた東金市が、横芝を押さえ、惜しくも2位となりました。大会終了後、小中学生から「来年に向けて今から練習したらどうかなあ」という、頼もしい会話が……。来年もまた頑張ってください。



(選者) 斎藤つね子

津田 若菜
大場 和可

西山満里子
房総の山なみつづく冬空に弧を描きつつ鷹の舞ひ立つ

八角 三枝
グレーから董の色に変はりゆく
明けゆく路を剣稽古に行く

中越美代子
やぶ椿まを置き落つる音聞こゆ
木洩れ陽ゆるる裏の森より

吉岡 信子
縞馬を殺すライオンのドキュメント
タリ写さず助けよと吾子は
叫びぬ

永藤 滋
浸蝕のすすみて閉ざせる遊歩道
牧水の歌碑遠く望めり

萩原 信一
風邪などを侮ることのないやう
に今朝も訪ねむ病みます母を